

よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

# 蔵通信 三三号

2013.2



第三十二話 最期の出会い

## 絵金百話 シリーズ

発行：絵金蔵運営委員会  
 発行日：2013年2月1日  
 〒781-5310  
 高知県香南市赤岡町538  
 Tel.Fax 0887-57-7117  
 ekingura@mxi.netwave.or.jp  
<http://www.ekingura.com/>



# INFORMATION

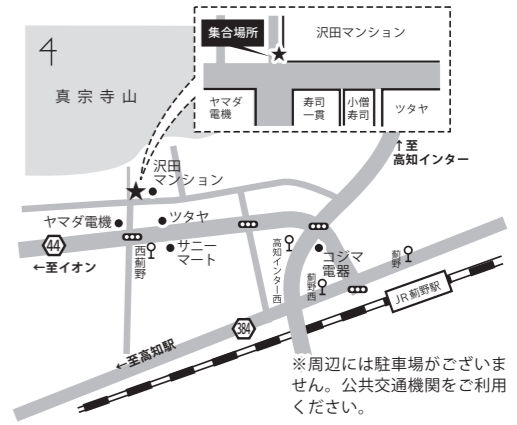
## 絵金墓参り参加者募集



絵金は妻と共に、高知市・真宗寺山の夫婦墓にひっそりと眠っています。来る命日、生誕200年記念事業の報告を兼ねて、恒例の墓参りを行います。絵金さんを身近に感じられるこの機会に、ぜひお問い合わせのうえ、お気軽にご参加くださいませ。

平成25年3月8日(金) 14:00 現地集合

集合場所：高知市薊野 真宗寺山麓(右地図参照)  
 定員：20名 所要約1時間・参加無料 ©小雨決行  
 お申込み：絵金蔵まで、電話・faxまたはe-mailでお申し込みください。  
 [電話・fax] 0887-57-7117 (月曜休館)  
 [e-mail] ekingura@mxi.netwave.or.jp  
 ※20分ほど山道を歩きます。すべりやすく、急な坂道もございます。動きやすい服装でお越しください。



< 集合場所までの交通機関 >  
 真宗寺山墓所：高知市薊野北町1丁目13番地  
 ○バス「西薊野」バス停下車 (サニーマーケット前) 集合場所まで徒歩約1分  
 ○JR「薊野」下車 (JR上り線「高知」駅の次) 集合場所まで徒歩約15分

## 香南市絵金生誕200年記念事業 土佐琵琶で語る絵金の世界

絵金今日・3月8日の翌日、土佐琵琶・篠笛の演奏会を行います。絵金生誕200年記念事業を締めくくるにふさわしい邦楽と絵金のコラボレーション。芝居小屋「弁天座」で心ゆくまでお楽しみください。

平成25年3月9日(土) 18:30開演

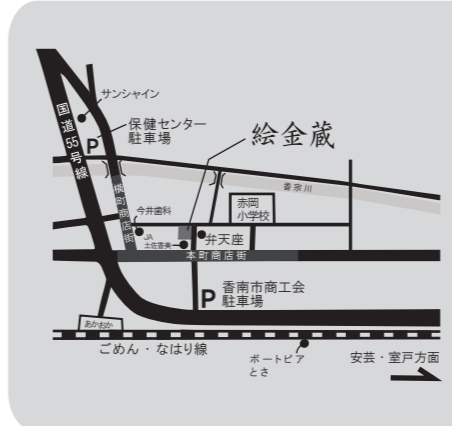
出演：土佐琵琶奏者/黒田月水 篠笛奏者/福原徹秋  
 演目：「絵金」「信太妻」(作詞/故・近森敏夫氏)

場所：弁天座(香南市赤岡町)  
 時間：開場/18:00 開演/18:30  
 入場料：前売/3,000円 当日/3500円(全席自由)  
 主催：香南市絵金生誕200年記念事業実行委員会・弁天座運営委員会 【お問い合わせ・チケット予約】弁天座 (0887-57-3060)



コーナー企画展 *こんな絵金もあった!*  
**「絵金—200年の想い—」** 会期：平成25年3月1日(金)~5月6日(月・祝)  
 昨年6月に設置した新しい展示ケースにて、絵金筆「雛図」「竹図」「お正月様」ほか、絵金が使用した印章などを展示します。絵金の息遣い、作品に込められた想いをぜひ肌で感じてみてください。

**【絵金蔵】**  
 開館時間  
 午前9時~午後5時  
 (入館は午後4時半まで)  
 観覧料  
 大人500円 高校生300円  
 小・中学生150円  
 (15名以上の団体は各50円引き)  
 休館日  
 毎週月曜日  
 (月曜が祝日の場合は火曜)  
 12月29日~1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

**絵金蔵の三つの使命**  
 : 年に一度 絵金の文化を守るため  
 : 伝承の世代へ 伝えるため  
 : 縁結び 地域を超えて 世代を超えて

# 手結盆踊り



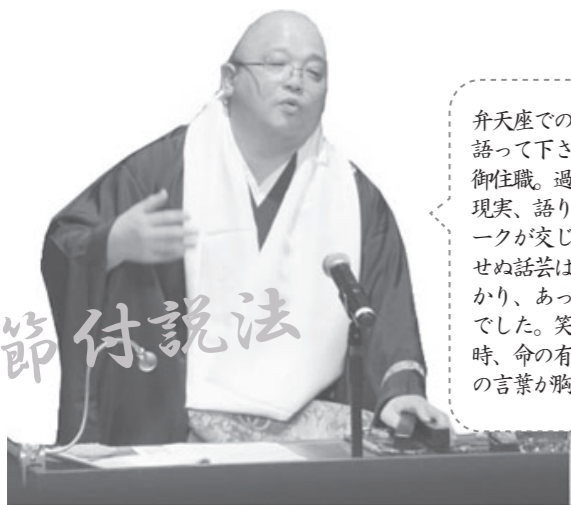
昨年11月30日、弁天座にて、絵金が描いた芝居の物語を受け継ぐ芸能をご紹介します「語り継ぐ絵金の物語—阿波デコ廻しと土佐の芸能—」公演を行いました。

地元の方も「こんなにじっくり見たのは初めて。素晴らしくてびっくり。」と喜ばれた盆踊り。現在ほとんど唄われない「鈴木主水」が披露されゆったりとしたリズムで語られる絵金絵巻さながらの心中の物語に酔いしれました。

人形を箱から出し、並べ、語り、歌い、動かす、ひとりが行うその動作一つ一つが芸になっていて、目が離せませんでした。箱の上の美しい人形が遣い手に抱えられ、生きて語り出す瞬間の不思議さ、面白さに夢中になり、いつの間にか芝居小屋全体が一つになっていました。

弁天座での公演が夢だったと語って下さった安楽寺・小角御住職。過去と現在、虚構と現実、語りと節、教訓とジョークが交じり合う、息もつかせぬ話芸はますます磨きがかかり、あっという間の1時間でした。笑いで心がほぐれた時、命の有難さという御住職の言葉が胸に響きました。

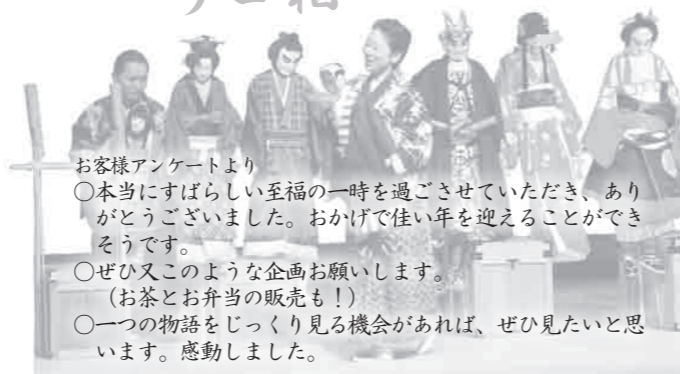
# 節付説法



# 語り継ぐ絵金の物語

香南市絵金生誕二〇〇年記念事業

# 阿波デコ箱廻し



お客様アンケートより  
○本当に素晴らしい至福の一時を過ごさせていただき、ありがとうございました。おかげで佳年を迎えることができそうです。  
○ぜひ又このような企画をお願いします。(お茶とお弁当の販売も！)  
○一つの物語をじっくり見る機会があれば、ぜひ見たいと思います。感動しました。

★ お待たせしました！  
★ 3月1日より、  
★ リニューアルオープンします。



今年度夏・冬2度にわたり行った改修工事が、2月末日で終了しました。夏には第2展示室への新たな展示ケース設置や土間ホールの展示照明の設置などを行い、今冬には収蔵庫扉を四方にゴムパッキンのついた扉に取り替えて水密性を高め、バックヤードに作業室を増設しました。

また絵や解説板をもっとよく見たい、というお客様の声に応えるため、劣化してきていた闇の展示室の照明を取り替えました。暗闇と光のコントラストがはっきりし、空間の迫力がいっそう増えています。

お客様の目に届かない改修箇所も少なくありませんが、展示施設としての機能をアップさせ、節目の年に新しいスタートを切ることができました。これからも「成長する蔵」をよろしく願ひ致します。



増設した作業室



収蔵庫の水密扉



新たに設置した除湿機



照明が新しくなった「闇と絵金」展示室

# 絵金百話

第三十二話 最期の出会い

おうしゅうあだちがはら たまきのみやあきごてん  
奥州安達原 環宮明御殿

## < 概要 >

『奥州安達原』は、宝暦12年(1762)時代物の人形浄瑠璃として大阪・竹本座で初演されました。近松半二・竹田和泉・北窓後一・竹本三郎兵衛らによる合作です。

平安時代に起こった奥州安倍一族の反乱である前九年の役(1051-62)後、戦いに敗れた安倍頼時の息子・貞任、宗任兄弟たちが源義家(八幡太郎義家)への復讐と再挙を企てる物語が中心となり、謡曲『善知鳥』\*1の世界と、福島県二本松市に伝わる安達原の鬼女伝説などが織り交ぜられています。

安部の忠臣・善知鳥安方は文治と名を変えて、安倍貞任の子・清童の身を守っています。文治は清童の薬代を得るため禁制の鶴を殺し、捕えられますが、安倍宗任扮する南兵衛は文治の身代わりになり都に上る策略をたて、その狙い通り都に引かれて行きます。

一方義家の舅・平兼伏直方は守護していた後朱雀帝の弟・環宮が失踪した責任を問われ、切腹を迫られています。そこへ直方の意に沿わぬ結婚をし勘当された姉娘・袖萩が父を案じ、御殿を訪れます。勅使に扮した袖萩の夫・貞任は直方に切腹を迫り、また袖萩も宗任に父殺しを迫られ、直方と袖萩は同時に自害、貞任と義家は戦場での再会を約して別れます。しかし結局、安倍一族の企みは義家のために事破れ、親子は自滅の道をたどることとなるのでした。

通称「袖萩祭文」として有名な「環宮明御殿」の場。雪の中目が見えなくなった袖萩が娘・お君に手を引かれ、親を目前にしながら名乗りあえず、祭文\*2に事寄せて切なる思いを述べるこの場面は、演目の中心となるクライマックス、三段目の切であることから「安達三」とも呼ばれ、今日も歌舞伎や人形浄瑠璃で愛される演目です。

今回ご紹介するのは、珍しい3枚のパネルからなる絵金派の作品。香南市・浅上王子宮の夏祭りがかつて飾られていた粹貼絵です。中央の母を挟み対峙する父と娘が自害する瞬間、果てるまでのほんのひととき、ようやく言葉を交わし合う哀切極まりないこの場面は、県下各地に5点余り残され人気の程がうかがえます。今回もどうぞお楽しみください。

\*1 能の曲目のひとつ。ある僧のもとに獵師の霊が現れ、殺生に明け暮れた在りし日を語り、親子の愛情が深いと言われる善知鳥を殺した罪を懺悔します。冥土で善知鳥に追いかけられ地獄の責め苦を受ける様を見せ、どうか自分を助けてほしいと僧に頼みつつ亡霊は消え失せる、という物語です。

\*2 歌謡の一種。本来、祭りのときなどに神仏に対して祈願や祝詞として用いられる願文でしたが、のちに信仰を離れ芸能化しました。

# 愛と復讐の壮絶なドラマ 奥州安達原



奥州攻め浄瑠璃の集大成と称される『奥州安達原』。  
次ページに登場するのは特に人気の三段目切、  
ここではその前後の物語をご紹介しましょう。

## 二段目 文治住家



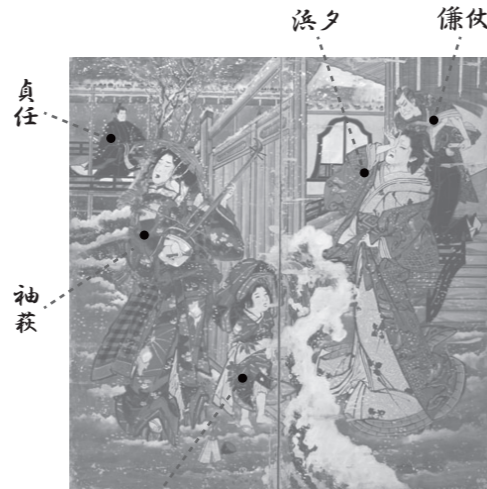
高知市春野町・東諸木中組蔵  
高知県立美術館寄託

△ 安倍の忠臣・文治は貞任の子・清童を妻・お谷と守り育てていたが、貧しさゆえ傷寒にかかった清童に薬を買うことができない。思い余って源義家が放った禁制の鶴を捕り、妻に訴えさせて代官所より金を得る。その住家で文治は捕えられるが、手を尽くした甲斐もなく、清童は「アレとゝ様が縛られてじゃ。詫言ひしてください。」という声を最後に、枕屏風に倒れ伏し、亡くなってしまふ。その時家に押しかけていた、悪党であったはずの南兵衛が、科人は自分であると名乗り出る。南兵衛は実は貞任の弟・宗任の仮の姿。科人となって都に行けば義家への仇討のチャンスもあろう、と都へ引いていかれる。

南兵衛

お谷

次頁に紹介する「環宮明御殿」と同場面。御殿にたどり着いた袖萩が祭文を語り、幼いお君が何かを訴えている様子。床本には「お慈悲に一言物おっしゃって下さりませ」と初めて会う祖父・祖母に乞う場面があります。健気な孫の言葉に涙する浜夕と、その後ろには困惑したような廉仗、左奥には公家装束で桂中納言教氏に扮した安倍貞任が描かれています。



高知市春野町・東諸木中組蔵  
高知県立美術館寄託

## 三段目 環宮明御殿

△ 環宮探索のため奥州へ旅を続けていた生駒助と傾城・恋絹は安達原の一軒家に宿を乞う。産気づいた恋絹のため薬を買いに行く生駒助を山に置き去りにして戻ってきた老女・岩手は恋絹を殺し腹を切り裂いてその胎児を奪う。岩手は実は安倍頼時の妻で、さらってきた環宮の病を治す妙薬として胎児の血を求めていた。しかし、恋絹が持っていた守り袋によって実の娘であることを知り、さらに環宮と思っていたのは替え玉であることを知らされ、追い詰められた岩手は谷底に身を投げ自害する。

環宮

岩手

## 四段目 一つ家



高知市春野町・東諸木中組蔵  
高知県立美術館寄託

# 第20回 高新大賞受賞

二〇一三年一月十八日、  
香南市赤岡町弁天座にて、高知新聞厚生文化事業団主催「第二〇回高新大賞」贈呈式が開催され、「赤岡絵金屏風保存会」「土佐絵金歌舞伎伝承会」「絵金蔵」三団体が合同受賞いたしました。贈呈式では表彰状授与の後、高知新聞厚生事業団理事長兼高知新聞社長・宮田速雄氏より、「絵金生誕二〇〇年の節目に、絵金に関連する受賞三団体が緊密に連携しあい、単に絵金作品を保存するだけでなく、地域活性化や絵金の再評価へと繋がっている」と受賞理由をお話頂きました。絵金や町を愛し応援して下さる皆さまに改めて感謝しつつ、これからも作品や文化を大切に継承し、その魅力をお伝えしていきたいと思っています。



弁天座での授賞式

## 第18回 赤岡冬の夏祭り レポート

毎年12月第1土日に開催される赤岡冬の風物詩「冬の夏祭り」。赤岡らしい自由さや、毎年変わるテーマに沿ったユニークな演出から、大杯飲みの“どるめ祭り”、“絵金祭り”と並び、赤岡三大奇祭と呼ぶ人も。2012年のテーマは「おどるおどる町が踊る」。みちみち行なわれるダンスや音楽を、老若男女思い思いに楽しんでいました。

グルメあり、ライブあり、フリーマーケットあり。先へ進めないほど大賑わい。



名物「路の上のコタツ」。寝る子供続出です。

近くを通りかかったお客さんに、突然靴みがきのダンス！お客さんはビックリしながらも、にこにこ笑顔。



冬の夏祭りホームページ <http://fuyu-natsu.com>

## 香南市 絵金生誕200年記念事業

### 200メートル巻き寿司に挑戦しました！

12月2日、絵金生誕200年記念にちなみ200メートル巻き寿司作りを開催。あいにくの雨のため、商店街路上で行われる予定が小学校体育館での挑戦になりましたが、参加希望者多数により締め切られるほどの大盛況に。酢飯にちりめんじゃこ、具にシイラのかまぼこなど香南市特産物を使用。天国の絵金さんにも届けとばかり、なが〜い200メートル巻き寿司が完成しました。



いち、に、さんの掛け声に合わせて…



大きな拍手と共に200メートル巻き寿司完成！

使用されたのは米約120キロ、のり約1300枚など(!)。準備をはじめ、運営には多くのボランティアが参加、材料も多くをご寄附いただきました。完成した巻き寿司は各自持ち帰り、子供たちや外国人の参加者も見られました。



# 絵金を読む。

おうしゅうあだちがはら たまきのみやあきごてん  
奥州安達原 環宮明御殿

裱貼/紙本着色/149.5×194.6cm  
香南市・浅上王子宮蔵

## — あらすじ —

御朱雀帝の弟、幼い環宮の守役・平兼仗直方は何者かに環宮を誘拐され窮地に立たされている。誘拐したのは源氏に復讐を企てる安倍貞任・宗任兄弟ではないかという密書を手にした兼仗のもとへ、娘婿にあたる源義家が宗任と思われる男を捕らえ、誘拐の詮議のために訪れる。

兼仗の二人の娘のうち妹の敷妙は義家の妻となり、一方姉の袖萩は親の意に逆らって浪人と恋仲になり娘のお君を生む。その後夫とも生き別れて盲目の祭文語りとなりお君に手を引かれ諸国を流浪する袖萩は、父の難儀を聞き、その訳を知りたいと雪のなか御殿の門前にたどりつく。兼仗も妻・浜夕も聞えてくる祭文の声で娘と知り哀れに思いつつも、武士の体面から許すことができない。

父に下司女とまでのしられた袖萩は、今は浪人でも、夫は元は筋目ある武士と書状を差し出す。そこにある娘婿の名が敵・安倍貞任であることを知った兼仗はますます窮地に陥る。

御殿にいた宗任は一族の敵、兼仗を刺せと袖萩に短刀を渡す。勅使になりすました貞任もここで兼仗に環宮失踪の責任を問いただす。かねて覚悟の兼仗は切腹、門前の袖萩も同時に自害する。

一部始終を見届けた貞任が引き上げようとした時、源義家に偽勅使であることを見抜かれ、貞任は戦いを挑む。しかし義家は勝負を戦場へと持越し、互いに後日を約して別れてゆく。

## ■ いざ一所に。

「敵と味方を婿に持つ、因果も思いめぐらせば、代々不和なる源平を、先祖に背いて縁組んだ我が誤り」と述懐する兼仗。今わの際について我が子と「娘」「父上」「いざ一所に」と言葉を交わし合いました。

## ■ ヤアそなたは自害したか。

袖萩とお君の哀れさに耐えかねていた浜夕。しかし夫に急かされ「抱きたうてならぬ初孫の顔もろくに得見ぬは、武士に連れ添う浅ましさと、諦めていんでくれ」と泣く泣くその前から立ち去ります。しかし、夫最期の時、外の異変に気づいて柴垣を押し破り娘のもとに駆け寄った時には、既に自害を図ったあとでした。

## ■ せいたりな貞任。

時節を待ってなぜ戦場で勝負をせぬのか、真心厚い袖萩へ最後に言葉をかけよ、と道理を尽くし貞任をさとす源義家。さすがの貞任も「なつかしの貞任どの、死ぬる今はにちよとなど此目が明きたい」という妻の言葉に涙し義家の言葉に従います。

## ■ エ、口惜しやなあ！

義家に正体を見破られ、こうなっては運を一時に決せんと詰め寄る貞任。



絵金筆「安倍貞任」  
白描/香南市・個人蔵



## ■ はつと驚き取りつくお君。

極寒の雪のなか、癩を起した母に自分の着物を脱いでさせかける健気なお君。その身を憐れんだ義家は、父の縁が切れたのなら自分が引き取ろうと申し出ました。

## 貴重な記録 — 芝居絵の保存箱 —

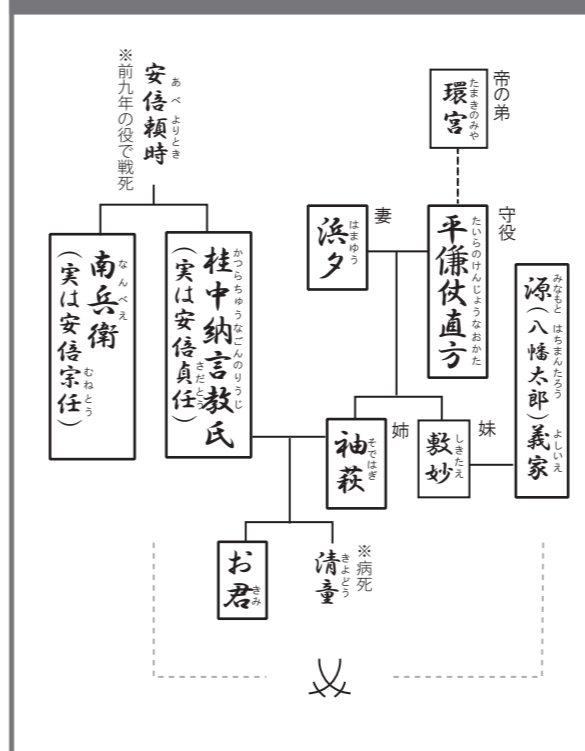


本作が伝わる浅上王子宮には文久元年(1861)と墨書された収納箱が残っています。この記録によれば、奉納したのは氏子のうちでも前田部落の若連中(若衆組)で、絵が「唐紙」と呼ばれていたことも分かります。土佐芝居絵にとって数少ない貴重な文字資料です。

## ■ 是がお声の聞き納め。

「御屋敷の軒までも来られる身ではなけれども、お命にかかる大事と聞いて心も心ならず、顔押しぬぐうて参りました。」と両親に呼びかける袖萩。しかし、門前まで来ながら会うことさえままならず、さらに敵対する父と夫との狭間で絶望した袖萩は渡された懐剣で自らを突きます。

## 奥州安達原 環宮明御殿 主要登場人物



三宝とって頂戴し、押肌ぬいで覚悟の  
矢の根、取るとはしらぬ袖萩が、  
娘に見せじと突っ込む懐剣...

【参考文献】  
『浄瑠璃名作集 下』有朋堂文庫 1923年7月  
『歌舞伎事典』平凡社 1993年4月  
『絵金 極彩の闇』grambooks 2012年10月